

## 2014 年度業績一覧

2014.4 ~ 2015.3

### 井上智史 (助教)

#### 【著書】

井上智史. “グラフィックデザインと Macintosh”. graphic elements. 白尾隆太郎編. 武蔵野美術大学出版局, 2014, p.190-195.

#### 【学会発表】

井上智史, 安藤公彦, 松永信介, 稲葉竹俊. 学習者による編集が可能な看護教育向け eBook 教材の開発. 情報処理学会第 77 回全国大会. 京都大学. 2015-03-19.

#### 【講演】

井上智史. コンピュータとアート、デザインの半世紀. 駿河台大学 春の公開講座 市民の大学 II—アートとデザインの現状—. 2014-06-28.

井上智史. 学校における情報. 2014 年度学校事務職員向研修講座 (情報分野). 駿河台大学. 2015-01-10.

#### 【研究テーマ】

グラフィックデザイン, コンピュータアート, e ラーニング

### 今村庸一 (教授)

【研究テーマ】 映像ジャーナリズム論, 映像と国際関係論

### 大久保恒治 (准教授)

#### 【講演】

「彩・ふるさと喜楽学」2014 年春 「震災遺稿と地域デジタルアーカイブ」2014-5-31

#### 【研究テーマ】

地域における情報資源の時間的・空間的側面を考慮したデジタルアーカイブ化とその活用、東日本大震災ビッグデータプロジェクト、文化情報資源の可視化

### 大久保博樹 (准教授)

#### 【著書】

高橋克典, 高橋悟, 石坂要一, 大久保博樹, 村尾英俊, 福地順子. 平成 27 年版 パーフェクト行政書士過去問題集. 住宅新報社. 2015, pp321-324, pp401-409, pp490-495, pp573-578, pp650-654 (分担執筆).

**【講演】**

大久保博樹. 学校における情報. 2014年度学校事務職員向研修講座(情報分野). 2015-1-10.

**【その他】**

大久保博樹. 音響演出論「ストーリー展開の結論としての効果音」(文化情報学研究所第3回研究会).  
メディアと情報資源. 2015, 21巻2号, p.57.

高橋克典, 高橋悟, 石坂要一, 大久保博樹, 村尾英俊, 福地順子. 特集平成26年度行政書士試験詳細  
分析. 2014, 不動産受験新報, 2014年春号, 住宅新報社, p.89-94.

**【研究テーマ】**

映像と音響のマルチモーダル, デジタルコンテンツとIT(教育と利活用)

**岡部健次(教授)**

**【論文】**

岡部健次, 永田大, 宮崎茂次, 村田厚生. 表計算ソフト上の遺伝的アルゴリズム学習システム. 日本経営システム学会誌. 2015, vol.31, no.3, p.323-330

**【研究テーマ】**

表計算ソフトの高次利用の研究, 鉄道走行を利用するリニア発電の研究

**城井光広(教授)**

**【論文】**

「株式会社レイカ」のビジュアルアイデンティティー デザインの実務報告. メディアと情報資源. 21  
巻1号, 2014, p15-24.

**【学会発表】**

オブジェ「Rotationand rising R450-A」「Rotationand rising R450-B」. 日本図学会 2014年度秋季大会  
(東京) 東京芸術大学 作品展示及び大会学術論文集 2014年度秋季大会 P190~191. 2014. 11.30~12.1

**【講演】**

アニメーションの歴史と日本アニメの現状(アートとデザインの現状). 市民の大学 駿河台大学.  
2014-6-7

**【その他】**

第39回ゆうちょアイデア貯金箱コンクール第一次審査員. ゆうちょ銀行 東京都中央区銀座. 2014.10

**【研究テーマ】**

グラフィックデザイン, オブジェ制作, アニメーション制作

金 基弘 (講師)

【著書】

金基弘, 岩宮眞一郎. “映像メディアにおける視聴覚融合”. 日本音響学会編 音響サイエンスシリーズ 11. コロナ社, 2014, p.62-135.

【論文】

金基弘, 郭暁, 藤山沙紀, 岩宮眞一郎. “音高の変化と映像の変化の調和感と音と映像の呈示方向の影響”. 日本音響学会誌. 2014, vol.70, no.10, p.534-537.

金基弘, 森文哉, 岩宮眞一郎. “テレビ番組における笑いを演出する効果音および音楽の効果”. メディアと情報資源, 2015, vol.21, no.2, p.15-28.

【学会発表】

Kim, Ki-Hong; Iwamiya, Shin-ichiro; Mori, Fumiya. “Effectiveness of sound effects and music to induce laugh in comical entertainment television show”. Proceedings of the 13th International Conference on Music Perception and Cognition, Seoul, 2014, CD-ROM.

Takada, Masayuki; Suzuki, Satoshi; Kim, Ki-Hong; Iwamiya, Shin-ichiro. “Survey on vehicle horn use in urban areas of Korea”. Proceedings of the 43th International Congress and Exposition on Noise Control Engineering, Melbourne, 2014, CD-ROM.

Suzuki, Satoshi; Takada, Masayuki; Kim, Ki-Hong; Iwamiya, Shin-ichiro. “Survey on vehicle horn use in South Korea”. Proceedings of the Kyushu-Youngnam Joint Conference on Acoustics 2015, Nagasaki, 2015, p.103-106.

金基弘, 森文哉, 岩宮眞一郎. “バラエティ番組における「笑い」を誘発する音の効果—主観評価と唾液アマラーゼ分泌量による検討—”. 日本音響学会 2014 年秋季研究発表会講演論文集, 北海学園大学豊平キャンパス, 2014, CD-ROM.

鈴木聡司, 高田正幸, 金基弘, 岩宮眞一郎. “韓国における自動車の警笛に関する意識調査”. 日本音響学会 2014 年秋季研究発表会講演論文集, 北海学園大学豊平キャンパス, 2014, CD-ROM.

高田正幸, 鈴木聡司, 金基弘, 岩宮眞一郎. “韓国における自動車の警笛の使用に関する状況調査”. 日本音響学会騒音・振動研究会, 金沢工業大学扇が丘キャンパス, 2014.

久保美紀子, 金基弘, 岩宮眞一郎. “笑いを演出する映像に付加するシンボリックな音楽の最適な付加位置”. 日本音響学会 2015 年春季研究発表会講演論文集, 中央大学後楽園キャンパス, 2015, CD-ROM.

**【講演】**

金基弘, 岩宮眞一郎. “映像メディアにおける視聴覚融合”. 日本音響学会 2015 年春季研究発表会, 中央大学後楽園キャンパス, 2015.

**【研究テーマ】**

音と映像の相互作用、音の主観評価、サウンドスケープ、サイン音、聴能形成

**國本千裕 (講師)**

**【論文】**

酒井由紀子, 國本千裕, 倉田敬子. 日本における健康医学情報の探索行動: 2008 年および 2013 年調査の結果. 日本図書館情報学会誌. Vol.61, No.2. p.82-95.

國本千裕. 「レイ・エキスパート」研究に向けての論点整理. メディアと情報資源. 2015, Vol.21, No.2, p.43-47.

**【学会発表】**

Sakai, Yukiko; Kunimoto, Chihiro; Kurata, Keiko. Exploring the possibility of more active use of medical articles by laypeople: How and what would they read? Medical Library Association Annual Meeting, Chicago, IL, USA. 2014-05-18/20

**【講演】**

國本千裕. “大学内・大学外・図書館における学生の学習行動: フォーカスグループインタビュー&フォトボイスインタビューの結果より” 千葉大学アカデミック・リンク・シンポジウム 「つながる学び: アカデミック・リンクのこれまでとこれから」. 2014-12-22

**【研究テーマ】**

「レイ・エキスパート」による医学・医療情報の探索と利用, 情報探索・利用行動, 利用者調査

**齋賀和彦 (教授)**

**【著書】**

齋賀和彦. いちばんやさしい iMovie 入門. 秀和システム, 2015, p.388

**【論文】**

大学で 4 K 映像制作を行うときの課題. メディアと情報資源. 2014, 21 巻 1 号, p.53-58.

**【講演】**

Thunderbolt 2 時代の外付け RAID とミニマム 4K 編集 After NAB TOKYO2014 一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会 2014-5-22

DOLLY & DRIVE, AUGM OKINAWA, AUGM OKINAWA 実行委員会 2014-10-25

これから動画を始めるための機材選びと環境作り 一般社団法人 カメラ映像機器工業会 2015-2.

**【研究テーマ】**

デジタル映像制作のワークフロー

**杉江典子（教授）**

**【著書】**

杉江典子. “図書館利用者の情報探索行動に関する量的データ収集方法”. 図書館は市民と本・情報をむすぶ. 池谷のぞみ他編. 勁草書房. 2015, p.170-177.

**【論文】**

杉江典子. ピッツバーグ市カーネギー図書館のレファレンスサービス：利用者獲得に向けた試み. メディアと情報資源. 2014, Vol.21, No.1, p.1-14.

**【学会発表】**

杉江典子. “図書館利用者の館内位置情報を用いた量的分析の試み：情報探索行動の傾向の把握にむけて”. 2014年日本図書館情報学会研究集会, 2014年11月30日, 梅花女子大学. (『第62回日本図書館情報学会研究大会発表論文集』 p.169-172)

Noriko Sugie. “Probability Density Estimation of Public Library Users’ Visiting Points Using Location Information”. ASIS&T (Association for Information Science and Technology) 77th Annual Meeting. Seattle, Washington (U.S.A.).2014-11-1/5. (poster)

**【研究テーマ】**

公共図書館におけるレファレンスサービス、公共図書館における利用者の情報探索行動、市民への健康情報提供

**瀬戸純一（教授）**

**【講演】**

川崎市市民講座 平和・人権学級「報道機関を知り、考える個人になる」(全5回)

- ・朝日新聞の誤報（従軍慰安婦「吉田証言」報道、福島原発事故「吉田調書」報道）から学べることは何かを考えよう. 2015-1-31.
- ・新聞作りの現場を知ろう 2015-2-7

**【研究テーマ】**

ジャーナリズム、マスメディア

**塚本美恵子(教授)**

**【論文】**

塚本美恵子. 映像視聴に見られる文化の影響: ブラジル人学校での視聴調査と学習環境調査結果から. メディアと情報資源. 21巻2号, 2014, p1-14.

**【学会発表】**

塚本美恵子. ブラジル人学校の子もたちは映像をどう読み取っているか: 「最も印象に残ったシーン」の分析から. 異文化間教育学会第35回大会. 同志社女子大学, 第35回大会発表抄録, p.164-165.

**【講演】**

塚本美恵子. 「見る」ということ. 飯能市倫理法人会モーニングセミナー. 2015-1-24.

**【研究テーマ】**

異文化間教育、映像メディアと教育、地域の情報発信

**寺嶋秀美(准教授)**

**【論文】**

寺嶋秀美. 携帯情報端末の教育支援ツールとしての利用一試作一. メディアと情報資源, 2014, 21巻, 2号, p.37-4.

**【研究テーマ】**

コンピュータ・ネットワーク

**杜正文(教授)**

**【論文】**

野村正弘, 杜正文ほか. 埼玉県公立小中学校事務職員研究協議会, 学校が発信する情報に対する保護者のニーズ(平成26年駿河台大学特別研究助成報告書). 駿河台大学. 2014, p.1-28.

**【研究テーマ】**

クラウドコンピューティング、情報セキュリティ、情報と教育技術支援

**野村正弘(教授)**

**【論文】**

野村正弘, 杜正文, 前田雄仁, 新井伸明, 鈴木由加, 堀江美奈子, 重田泰彦, 望月直和, 尾坂麻美, 角谷奈千, 丸田裕子, 石田衣絵, 鈴木博人, 大谷和幸, 川村良幸, 倉林昌子. 学校が発信する情報に対する保護者のニーズ(平成26年度駿河台大学特別研究助成報告書). 駿河台大学. 2014, p.1-28.

早川由紀夫, 萩原佐知子, 野村正弘, 小山真人. 読めて使える美しい火山地質図を安価で市場に出す. 地図. 2015, Vol.53, No.1, p.57-65.

**【学会発表】**

尾坂麻美, 野村正弘, 前田雄仁, 石田衣絵, 角谷奈千, 望月直和, 新井伸明, 鈴木由加, 堀江美奈子, 重田泰彦, 丸田裕子, 鈴木博人, 大谷和幸. 学校情報の受信手段に対する保護者ニーズ. 日本教育メディア学会第21回年次大会. 金沢星陵大学. 2014-10-11/12

**【講演】**

野村正弘. 日本の博物館の現状と役割. 飯能市郷土館市民学芸員講座第1回. 2014-5-18.

野村正弘. 博物館と教育. 飯能市郷土館市民学芸員講座第3回. 2014-6-8.

野村正弘. ペットボトル顕微鏡をつくろう!. 多摩六都科学館科学教室. 2014-9-28.

野村正弘. プランクトンから探る海洋環境～古生物学者の仕事体験～. 多摩六都科学館科学教室. 2014-9-28.

野村正弘. 学校における情報. 2014年度学校事務職員向研修講座(情報分野). 2015-1-10.

**【雑誌記事】**

埼玉県公立小中学校学校事務職員研究協議会, 野村正弘. シリーズ続. 学校の情報発信を考える(第2回). 学校事務. 2015, 3月号, p.26-29.

**【研究テーマ】**

博物館の展示・研究・教育、教育と情報、地域の自然

**波多野宏之(教授)**

**【論文】**

波多野宏之. アルトテークとは何か: 仏独に見る美術作品貸出ギャラリーとその我が国への移植の可能性. メディアと情報資源. 2015, vol.21, no.2, p.49-54.

**【講演】**

波多野宏之. 3歳から103歳までの美術館. 設立一周年記念シンポジウム. 北高夢ロード実行委員会主催. 下関市立豊北歴史民俗資料館, 2014-08.

波多野宏之. トランスフロンティア: ストラスブールとその周辺の図書館・博物館. 日仏図書館情報学会セミナー. 日仏会館, 2014-11.

**【展示】**

波多野宏之企画構成. 「フランスのアートポスター: 美術館/展覧会への誘い」展. 北高夢ロード実行委員会主催. 下関市立豊北歴史民俗資料館, 2014-08.

日新寮アーカイブズをつくる会 [波多野宏之等] 企画構成. TUFUS Digital Archives 日新寮. 東京外国語大学文書館, 2014-11~2015-02.

**【その他】**

波多野宏之. 文化情報学研究所第4回研究会: アルトテークとは何か: 仏独に見る美術作品貸出ギャラリー. メディアと情報資源. 2015, vol.21, no.2, p.58.

**【研究テーマ】**

アート・ドキュメンテーション、文化環境の日仏比較

**間島貞幸 (准教授)**

**【その他】**

「発見! いきいき飯能人」(北村美佐江さん、関谷由紀子さん) 飯能日高テレビ 2014年4月放送

「発見! いきいき飯能人」(鈴木猛史さん) 飯能日高テレビ 2014年5月放送

「発見! いきいき飯能人」(山田和さん) 飯能日高テレビ 2014年6月放送

「発見! いきいき飯能人」(大久保義雄さん) 飯能日高テレビ 2014年8月放送

「発見! いきいき飯能人」(なぐり広場の皆さん) 飯能日高テレビ 2014年11月放送

「発見! いきいき飯能人」(飯能高等学校ホッケー部の皆さん) 飯能日高テレビ 2014年1月放送

「発見! いきいき飯能人」(楽山人の皆さん) 飯能日高テレビ 2015年2月放送

「発見! いきいき飯能人」(泉夏帆さん) 飯能日高テレビ 2015年3月放送

**【研究テーマ】**

映像制作

**丸山裕孝 (教授)**

**【その他】**

丸山裕孝. 情報表現論「デザインの必然」. 第3回文化情報学研究所研究会(授業研究). メディアと情報資源. 2015, Vol.21, No.2, p.55.

丸山裕孝. イラストレーション「千手」の制作について. メディアと情報資源. 2014, Vol.21, No.1, p.25-52.

**【研究テーマ】**

金属工芸、現代美術、インタラクティブメディア

**村越一哲 (教授)**

**【その他】**

Murakoshi, Kazunori. Mabiki: Infanticide and Population Growth in Eastern Japan, 1660-1950. 2013. By FABIAN DRIXLER. Berkeley: University of California Press. pp.xvii + 417. US\$75.00 or £52.00.



ISBN:978-0-520-27243-9. Population Studies. 2013, vol.69, no.1, p.123-125.

**【研究テーマ】**

近代における mortality と女性労働，江戸時代の武士人口と官僚制，インターネット上での記録史料情報の共有化

**本池 巧 (教授)**

**【論文】**

本池巧. アクティブ・ラーニングを支援するインタラクティブなデジタル教材開発に向けて. メディアと情報資源. 2014, 21 巻, 2 号, p.29-36

**【講演】**

産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業 関越大学グループテーマ3の取り組みについて. 学生のキャリアパス・キャリア準備性確立に関するフォーラム, 2014-11

**【研究テーマ】**

非線形動力学, フィジカルコンピューティング, モバイルコンピューティング, 数式処理システム, eラーニング